



写真1 丸太薪ボイラーの点火準備



写真2 昨日の熾火があり、扉を開けるとすぐに発火



写真3 タイセイマシナリー社長の説明



写真4 外に出てみると煙突から白煙（燃烧不良？）



写真5 新聞記者達が続々と到着



写真6 投入可能な丸太直径は200mm（右は雑木）



写真7 燃え盛る丸太（上は二次燃焼室というが）

（注）「ぞうき」と「ざつぼく」

「雑木」を昔は「ぞうき」と呼んでいたが、林野庁が昭和 30 年代に植林拡大の方針を採った際、これを「ざつぼく」と呼んで軽蔑し、針葉樹を植えるよう推奨した。しかし針葉樹の人工林は自然災害に弱く、現在では雑木である広葉樹林の復活が見直されている。(Wikipedia より)



写真8 途中で炭化炉のアングルを組立披露

<完>